

一 般 質 問 通 告 表

平成27年第2回始良市議会定例会（9月8日（火） 午前9時00分開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 堂森 忠夫	1. 家庭教育について	<p>始良市子育て基本条例が制定され、早くも2年が経過しようとしている。そのような中で、今般の青少年を取り巻く事件（大阪市の中学生の殺害事件等）や事故について考えるなら、我が市においても、家庭教育の充実を図る施策の必要性が問われてしかりである。</p> <p>そのため、道德教育や倫理観の育成をふまえた次世代の育成と、少子化対策や青少年健全育成について民間団体（家庭倫理の会など）と協働し、さらには子育てを強化するために、よりよい家庭環境と理想とする家庭に近づくために、具体的な施策が必要と考えるがどうか問う。</p>	市 長 教育委員長
	2. 地域経済の活性化について	<p>（1）地方の人口減少や住民の高齢化は、店舗閉鎖や里山の荒廃といった問題にまで波及してきているが、この課題の解消を図るべく地域経済の活性化のために、エネルギーの地産地消を目指しながら、太陽光と同等な事業推進として水力や地熱発電事業の推進強化策を図れないか。</p> <p>また、地域の自然を活かし電気を創る学びの場などを取り組めないか。</p> <p>（2）里山の荒廃は大気、水質の浄化機能低下などを招くとの警告がある。また、生物多様性を維持するためにも守るべき里山を重要指定し、保全や活用の具体策の取組みとして、近隣市町村と連携し鳥獣被害防</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 野良猫の対策について	<p>人が喜んで訪問し交流人口の拡大と語学向上に繁栄すると思うがどうか。</p> <p>高岡公園周辺では、飼い猫を捨てて野良猫化しているので、公園には行きたくないとの苦情と、野良猫の避妊治療を事業化するようにとの市民の声がある。</p> <p>避妊治療に取り組む動物愛護団体や避妊活動に取り組む個人を育成し、野良猫対策と犬や猫などの里親捜し支援事業に取り組めないか。</p>	市 長
2. 神村 次郎	1. 市道の橋梁整備について	<p>橋梁整備について、総合計画では交通環境の整備のなかで、橋梁の寿命を50年とした場合架け替えが多数となることから、予防的な修繕を行い橋梁の長寿命化を図ることにしている。</p> <p>以下について問う。</p> <p>(1) 今後、市道に架かる橋梁について、架け替え、また、修繕で長寿命化をはかる計画の概要を問う。</p> <p>(2) 橋梁の長寿命化の整備は、短期間での計画が求められるが課題は何か。</p> <p>(3) 加治木町、市道・中野長谷線に架かる、池田上橋、池田下橋は、高速道路作業道路で整備されたもので老朽化が進み早期の整備が必要である。今後の整備計画を問う。</p> <p>(4) この池田上橋・下橋の整備にあたっては、九州自動車道の維持管理道路としての機能もあり、高速道路管理会社からの負担等は、検討できないか。</p>	市 長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	2. 川内原子力発電所の再稼働について	<p>九州電力は、8月11日1号機を起動し再稼働に踏み切った。原子力規制委員長は、新しい規制基準の審査は「安全性を保障するものではない」と発言し、政府は「原発の安全性は、規制委員会の判断に委ねている」「個々の再稼働は事業者の判断で決める」などと互いに責任転嫁している。</p> <p>一方、地方自治体も、これまで「国が安全と認めた原発」の再稼働に同意するとしており、事故が起きた時の責任を誰もが巧妙に回避し、無責任体勢の中で再稼働が行われた。</p> <p>世論調査では、再稼働に反対が50%を超えている。地域住民の圧倒的多数が不安を持っている中での再稼働である。</p> <p>以下について問う。</p> <p>(1) 川内原発の過酷事故時は、30キロ圏を越えて始良市にも大きな影響が想定される。市民の安全を守る立場から、再稼働に踏み切ったことについての感想を問う。</p> <p>(2) 九州電力と原子力防災に関する協定を締結しているが、立地自治体と同等の安全協定とすべきだが、関係6市町と協議をしたことはないか。</p> <p>(3) 放射性廃棄物の最終処分対策が曖昧なまま、原発の再稼働をするのは「将来世代に対し無責任」と考えるが市長の見解を問う。</p> <p>(4) (避難計画の実効性のないまま再稼働された) 避難計画については、これまで計画の不十分さが指摘されている。市として今後どのように対処するのか。</p>	市長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>3. 戦後70年、平和問題について</p>	<p>(5) 福島県飯館村の例のように30キロ圏をこえて放射性物質の拡散が想定される。始良市民の避難計画は策定しないのか。</p> <p>私たちの周りには、戦争に行った人、戦争で肉親を失った人、そして自らが空襲など戦火の中を逃げ惑った人が暮らしている。そのような人々の多くは、もう二度と悲惨な戦争を経験したくないと言っている。</p> <p>戦後70年間にわたって日本の市民社会が大切に守り抜いてきた「平和主義」は今後も日本のブランドとして発展させていくことが必要である。</p> <p>以下について問う。</p> <p>(1) 戦後70年に当たっての市長としての所感を問う。</p> <p>(2) 戦争体験の風化が言われる中で、市民への平和への願いについて、今後、戦後80年に向けて市としての施策を問う。</p> <p>(3) 悲惨な体験等を記録として残すなど、平和への願いを後世に伝えるために、市で平和資料館等の整備はできないか。</p> <p>(4) 8月11日市庁舎に「恒久平和を願うまち 始良市」の懸垂幕をかがげられた。市民の平和への願いを市として取り上げられたことに敬意を表する。そこで、以下について問う。</p> <p>①標語は起草委員会等をつくり、検討されたのか。</p> <p>②標語の「意志」はどのようなことを目指すのか。</p> <p>③市議会では、平成22年9月30</p>	<p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>日に「非核平和都市宣言に関する決議」をしているが、この決議とのバランスは必要なかったか。</p> <p>(5)「非核自治体協議会」及び「平和市長会議」へ加入し、全国の自治体と連携を図って、平和行政を進めていくことはできないか。</p>	
3. 竹下日出志	<p>1. 災害に対応する体制の整備について</p> <p>2. 18歳選挙権の実施に向けた取組みについて</p>	<p>防災に関する知識と技能を習得し、地域や職場で防災力を高める活動が期待される「防災士」がいる。</p> <p>行政の取り組みとして防災士養成に力を入れる自治体が増えている。</p> <p>(1) 地域の防災力向上を図るため、市民や市職員、消防団員、高校生、主婦、市内事業者等を対象に防災士を養成する考えはないか。</p> <p>(2) 乳幼児は自力で避難や安全の確保ができないため、保育士や幼稚園の教職員、子どもの命を守り学校の防災力強化のため、教職員を対象に防災士の資格を取得させる考えはないか。</p> <p>(3) 各地域で「自助・共助・公助」の連携の重要性や自主防災思想の普及啓発を強化するため、防災士との連携を図る考えはないか。</p> <p>(4) 地域防災の担い手を育成することにより、地域防災の向上を図るため、防災士の資格を取得する費用について、助成制度を設ける考えはないか。</p> <p>選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる対象は、衆院選、参院選のほか、地方自治体の首長や議会の選挙、最高</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長 選挙管理委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 高齢者や障がい者への読み書き（代読・代筆）支援について</p>	<p>裁裁判官のなどである。来年夏の参院選から適用される見通しで、新たな有権者となる18、19歳は高校3年生も含めて約240万人。 これは全有権者の約2%に当たる。</p> <p>(1) 今回の改正に伴い、18、19歳の選挙運動や政治活動も認められるようになる。そのため、地域の教育委員会による指針の作成や、それにも基づく学校の自主的な規制などのルール作りはどのように考えるか。</p> <p>(2) 若い世代へのシチズンシップ教育（社会の一員である市民であることや公民権の意識啓発）はどのように考えるか。</p> <p>(3) ショッピングモールなど、若い人が集まりやすいところへの期日前投票所設置を促進する考えはないか。</p> <p>高齢化が進む中、日常生活で、一人で文字を読んだり書いたりすることが困難な人が増えている。</p> <p>視覚障がい者や視力が低下した高齢者などにとって、通帳や契約書類など、個人情報に関わる読み書きは、大きな悩みの種となっている。こうした中、独自に「読み書きサービス（代読・代筆）を行う自治体がある。</p> <p>本市でも、視覚障がい者や高齢者を支援する「読み書きサービス」を実施する考えはないか。</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 森川 和美	1. 若者の雇用と地元定着支援について	<p>地方創生を進める上で欠かせないのは、地域を担う人で、特に若者である。しかし、地方でやりたい仕事がないために、若者を中心に地方から都会へ移る人は少なくない。若者を地元に着させるには、地方での就職を後押しすることが必要であると考え。</p> <p>(1) 卒業後、市内及び県内で3年間働くことを条件に奨学金返還を一部免除にする事業は考えないか。その原資として、基金創設導入はどうか。</p> <p>(2) 高校生3年間、大学生4年間の通学定期代を全額助成する考えはないか。条件は、市内及び県内の事業所に高校生3年以上、大学生4年以上働くこと。</p>	市 長 教育委員長
	2. 逆住宅ローンについて	<p>現在高齢者破産等が社会問題になりつつある。また、高齢者の老後の生活が問題になっている。そのような中、住宅を担保に老後の生活費などを借入れ、死後に不動産等を売却して清算する「リバース・モーゲージ」逆住宅ローン政策を検討する考えはないか。</p> <p>高齢化が進み、将来の年金給付額が減る心配が強まる一方、子どもと離れて暮らす高齢者だけの世帯も急増している。リバース・モーゲージには、老後の住宅と生活費の確保だけでなく、高齢者の暮らしに役立つさまざまな使い道も期待できるのではないか。</p> <p>リバース・モーゲージを扱う地方銀行が増えている。本市も金融機関との検討協議を提言する。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 禁煙対策について</p> <p>4. 山間部過疎地域の買い物弱者対策について</p>	<p>たばこのもたらす健康への害は計り知れないものがある。8月20日の日本経済新聞に、たばこ「万病のもと」喫煙とがんのリスクについての記事が出ていた。</p> <p>喫煙とがんのリスクは、男性ではがん全体1.6倍、食道がん3.7倍、肺がん4.5倍、女性ではがん全体1.5倍、肺がん4.2倍、乳がん3.9倍、膀胱がん6.5倍、また全体での糖尿病リスク1.34倍に衝撃を受けた。</p> <p>(1) たばこの害について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 学校、事業所への取組み、さらに本庁内での取組みはどうか。</p> <p>山間部、過疎地域では人口減少に伴い、商店などの廃業が相次いでおり、不便を感じている住民及び地域の買い物弱者対策として移動販売車の導入施策を検討し、補助する考えはないか。また買い物代行の現状はどういう実態か。</p> <p>農林水産省は2013年6月、自宅から最も近い生鮮食料品店までの直線距離が500メートル以上で、かつ自動車を持たない人が全国に約850万人おり、うち65歳以上の高齢者は約380万人に上るとの推計がある。本市の実態は調査していないか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長</p>
5. 萩原 哲郎	1. プレミアム商品券について	市制施行5周年記念プレミアム商品券の販売は、国の地域活性化・地域住民生活支援のための交付金事業を活用した、市補助金に基づき、始良市商工	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 重富中学校校舎等の改善対策について</p>	<p>会が事業主体となり実施した事業である。</p> <p>始良本所で3万600冊、加治木支所2万1,360冊、蒲生支所8千冊の計5万9,960冊が7月1日（水曜日）に販売された。</p> <p>購入希望者が多く、始良本所・蒲生支所では当日、加治木では翌日完売したと聞くが、市民からの指摘、プレミアム商品券の販売について問う。</p> <p>(1) プレミアム商品券の販売について総評・感想を問う。</p> <p>(2) 各市町村のプレミアム商品券の販売枚数はどのようにして決まったのか。</p> <p>(3) 希望者に広く行き渡るように、販売購入についてどのような方法を行ったか。</p> <p>(4) 市民からの指摘はなかったのか。</p> <p>(5) 市長の家庭では何冊購入されたのか。</p> <p>(6) 交通弱者に対しての購入方法はどのように行ったか。</p> <p>(7) 市民の休暇の多い、日曜日の販売は考えられなかったのか。</p> <p>(8) 共働きの家庭は、平日は仕事で買えなかったとの不満がある。今回、平日に販売した理由について問う。</p> <p>(9) アルバイトを雇い、大量の商品券を購入した市民もいると聞くがどうか。</p> <p>(10) プレミアム商品券を大量に使用できる大型店は何処どこか。</p> <p>(1) 給食室の配膳場は、雨時に雨が入り込んで衛生的に良くない。以前は、ひさしがあり役目を果たしてい</p>	<p>教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 市内の道路改善・整備について</p>	<p>たと思う。早急の衛生対策が必要と思う。</p> <p>先の6月議会答弁で「配膳室に雨が入り込むという状況は、よほどの豪雨で、かつ、横雨でない限りありえず、仮にそのような場合には、担任等が雨にさらされないように指導しますので、衛生管理上の心配はない」とあったが、どのような指導を行っているのか。</p> <p>ひさし対策を行えば問題は解消されると思うが、考えを示せ。</p> <p>(2) 校舎A棟のトイレ対策については、改修に向けて検討していくとの事であったが、特に来客用のトイレは狭く、汚い。</p> <p>宿直室を撤去し、トイレの改善を要求するが改善対策は考えていないのか。</p> <p>(3) 重富中学校グラウンド、その他のグラウンドも雨が上がっても一向に水が引かない、排水処理が悪いと思うが対策を問う。</p> <p>(1) 堅野中央・星原線は、高低差があり、幅員も狭くガードレールもない。また、道路にはひび割れも目立ち、危険な道路である。</p> <p>ここ数年、この近辺にはアパートや住宅が増え、ここを通学路に使用する重富小・中学校の児童数も増えている。また、住民の生活道路でもある。</p> <p>以前4回ほど、この件について質問をしたが、答弁は「道路改善には多額の費用が必要であり、今後、工法について研究する」といつも同じ</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>ような内容で一向に進捗がない。事故が起きてからでは遅い。</p> <p>高低差があり、危険性が伴うので、ガードレールや擁壁で車の転落や道路の崩落などに備えるなど、早急に道路改善が必要である。工事に多額の費用がかかるのは理解できるが、賠償・補償金よりも工事費が安いと思う。</p> <p>①事故が起きる前に道路改善を行ったらどうか。その後の進捗状況を示せ。</p> <p>②道路工事費はいくらかかるのか。</p> <p>③6月の豪雨で崩落があったと思うが、その後の処置状況を問う。</p> <p>(2) 高樋集落一帯の側溝は、車が通るたびに騒音がひどく、住民からうるさくて眠れないとの訴えがあり、昨年度、高樋中線の約200メートルを整備し、良くなったと聞く。</p> <p>その後、継続的に整備する計画であると聞いたが残り、東高樋中線(反対側)の約200メートルと本通り・高樋春花線100メートルが済んでいないと思う。住民からの指摘・要望も聞いていると思うが、その後の処置と進捗状況を示せ。</p> <p>(3) 始良ニュータウン入口から高速道路までの、県道十三谷・重富線は急勾配でカーブしているので、見通しも悪く、自転車通学生の交通事故が懸念される場所である。</p> <p>6月29日に「一心桜始良温泉」がオープンし、出入り口は利用客が多く、交通事故が懸念される。カーブを緩やかに改善する等の、安全対策を早急に講ずるべきであると思う</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>4. 堂山地区住民の緊急時の避難場所について</p> <p>5. 西始良小校区に認定こども園の設置</p>	<p>が考えを示せ。</p> <p>旧堂山小学校は、地区公民館・簡易郵便局・出張診療所・避難場所と多岐にわたる用途に用いられている施設である。</p> <p>昭和33年に建設され、築後56年経っている。</p> <p>老朽化が激しく、耐震強度も不足する建築物であるが、災害時の避難所と指定され利用されている。</p> <p>この地区には、山や谷そして崖もあり、南九州地域特有のシラスと岩盤に覆われ、崩れやすい地形になっている。地震・ゲリラ豪雨等が発生した時、避難場所の確保は当たり前である。</p> <p>堂山校区の住民が安心して避難できる場所が必要と思う。</p> <p>(1) 旧堂山小学校は、建築後相当の年月が経過しており、老朽化が進んでおりますが、耐震強度を備えているか、否かについては不明でありますとあるが、耐震強度の不明な場所を災害時の避難場所として、使用して良いのか。不適當と思うがどうか。</p> <p>(2) 旧堂山小学校は、色々な動物が住み込み、近年は、ノミ・ダニも発生しており、衛生管理も不充分と指摘されている。また、地震・ゲリラ豪雨等が発生した時のこと思えば、住民は不安であり、平屋建てで良いので、早急な建て替えを望んでいる。市長の考えを問う。</p> <p>西始良小校区は、造成以来、約38年が経過、世帯数・人口とも減少しつ</p>	<p>市 長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	について	<p>つある。</p> <p>始良地区で最も大きな団地として期待され、希望に満ちて昭和62年に入居が始まったが、平成8年には456名の児童数が、27年4月には196名で200名を切り、半数以下になり、このままでは減少傾向は止まらない。</p> <p>特に、共働きの親は、子供を預けるとき一番助かるのは、保育園と自宅が近いということである。</p> <p>認定こども園が設置されれば、働く若い夫婦にとっては大変魅力的で、校区内に移住してくることが期待できる。</p> <p>西始良小校区の活性化のためには、地域住民は認定こども園の設置を強く望んでいる。市長の考えを示せ。</p>	